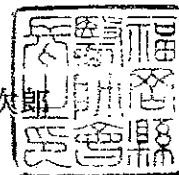




福岡医発第 636号(総)F
平成15年 6月25日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 関 原 敬次郎



医薬品・医療用具等安全性情報第190号の速報について

標記について、日本医師会より別添のとおり速報がまいりましたので取り急ぎご連絡いたします。

つきましては、貴会におかれましても本件に関しご了解いただきますようお願い申し上げます。

なお、近日中に厚生労働省より、マスコミに発表される予定であり、また、日本医師会雑誌の平成15年7月15日号に掲載される予定でありますことを申し添えます。

平成15年6月25日

都道府県医師会

担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事

櫻 井 秀 也

医薬品・医療用具等安全性情報第190号の速報について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、医薬品・医療用具等安全性情報につきまして、今度出される第190号の速報を取り急ぎお送り申し上げます。

「1. ワイヤレスカードシステム等から発射される電波による植込み型の医用機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）への影響について」では、総務省において、平成12年度より「電波の医用機器等への影響に関する調査研究」が実施され、今般、ワイヤレスカードシステム等から発射される電波の植込み型の医用機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）に及ぼす影響についての調査がまとめられたことから、当該報告内容について紹介し、改めて医療関係者等に注意喚起を行うこととするものです。

「2. 重要な副作用等に関する情報」では、前号以降に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容、参考文献とともに改訂の根拠となった症例の概要として「ゲフィチニブ」、「炭酸リチウム」、「メシル酸バズフロキサシン」に関する情報が掲載されています。

また、「3. 使用上の注意の改訂について（その146）」も掲載される予定です。

なお、近日中に厚生労働省より、マスコミに発表される予定であり、また、日本医師会雑誌の平成15年7月15日号に掲載する予定であることを申し添えます。

医薬品・医療用具等安全性情報190号概要

1. ワイヤレスカードシステム等から発射される電波による植込み型の医用機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）への影響について

携帯電話端末等による医用機器への影響については、医薬品副作用情報 No.136（平成8年3月号）、No.137（平成8年5月号）及びNo.143（平成9年6月号）において注意喚起を行ってきたところである。

総務省において、平成12年度より「電波の医用機器等への影響に関する調査研究」が実施され、今般、ワイヤレスカードシステム等から発射される電波の植込み型の医用機器（心臓ペースメーカー及び除細動器）に及ぼす影響についての調査がまとめられた（<http://www.soumu.go.jp/s-news/index.html>）ことから、当該報告の内容について紹介し、改めて医療関係者等に注意喚起を行うこととした。

2. 重要な副作用等に関する情報

医薬品・医療用具等安全性情報 No.166 の『「医薬品・医療用具等安全性情報」の月刊化について』でお知らせしましたように、前号（医薬品・医療用具等安全性情報 No.189）以降に改訂を指導した医薬品の使用上の注意のうち重要な副作用等について、改訂内容、参考文献等とともに改訂の根拠となった症例の概要に関する情報を紹介いたします。

- (1) ゲフィチニブ
- (2) 炭酸リチウム
- (3) メシル酸バズフロキサシン